

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	① 利用者数		(目標値の根拠)		〈令和6年度実施における変更点〉		
	② 施設のイベント利用許可・届出の日数		①前年度実績比5,000人増				
	③ 施設内での管理瑕疵による事故発生件数		②前年度実績比5件増				
	③ 施設を安全な状態に維持する		③施設を安全な状態に維持する				
実績		単位	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(計画)
①	a 目標値	人	240,500	197,000	122,555	200,259	228,927
	b 実績値	人	197,043	122,555	195,259	223,927	
	c 達成率b/a	%	81	62	159	111	
②	a 目標値	日	17	33	38	49	84
	b 実績値	日	33	38	44	79	
	c 達成率b/a	%	194	115	115	161	
③	a 目標値	件	0	0	0	0	0
	b 実績値	件	0	0	0	0	
	c 達成率b/a	%	100	100	100	100	
指定管理者の収支状況	事業計画 (R5)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(計画)
	(千円)	実績-計画					
利用料金	11,696	▲ 1,242	8,364	8,858	8,692	10,454	11,408
県負担金	27,500	0	29,978	30,653	28,229	27,500	27,200
その他	573	▲ 560	26	61	67	13	604
収入計a	39,769	▲ 1,802	38,368	39,572	36,988	37,967	39,212
支出b	39,707	▲ 2,029	37,589	38,517	36,088	37,678	39,175
うち人件費	21,625	275	20,817	20,685	21,189	21,900	23,827
収支a-b	62	227	779	1,055	900	289	37
配置職員数(人)	常勤 5	0	常勤 5	常勤 5	常勤 5	常勤 5	常勤 5
	非常勤 3	0	非常勤 3	非常勤 3	非常勤 3	非常勤 3	非常勤 3

※(注記事項があれば記載)

〈表その2：管理運営負担金の対象事業を定めている場合は、次の表を使用する。〉

指定管理者の収支状況	事業計画 (R5)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(計画)
	(千円)	実績-計画					
負担金事業	県負担金	0					
	その他	0					
	収入計a	0	0	0	0	0	0
	支出b	0	0				
	うち人件費	0	0				
収支a-b	0	0	0	0	0	0	
その他事業	利用料金	0					
	その他	0					
	収入計c	0	0	0	0	0	0
	支出d	0	0				
	うち人件費	0	0				
収支c-d	0	0	0	0	0	0	
配置職員数(人)	常勤	0	常勤	常勤	常勤	常勤	常勤
	非常勤	0	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤	非常勤

5. 令和5年度事業の実施状況・実績の検証

		計 画		実 績		
管理運営の状況	<指定管理者実施分> ①施設の維持・修繕等 ・施設の維持管理、清掃、植栽管理業務について、事業計画に沿って適正に行う。 ・利用者の行為に関する許可、届出の受理、利用料金の設定、禁止行為に関する監視・指導等を適正に行う。 ②施設の利用促進 ・広報活動、自主事業等を通して、施設の普及・利用の向上に努める。 <県実施分> ・指定管理者について、月1回の業務報告会等を通じて適正に指導、評価を行う。			<指定管理者実施分> ①施設の維持・修繕等 ・施設の維持管理、清掃、植栽管理業務は事業計画に沿って行われ、利用者にとって快適で質の高い状態が保たれた。 ・利用者の行為に関する許可、届出の受理、利用料金の設定、禁止行為に関する監視・指導等適正に行われた。 ②施設の利用促進 ・指定管理者のホームページなどを通じて広報活動を行い、自主事業等を通してイベント等開催日の大幅増につながるなど、施設の普及・利用の向上に努めた。 <県実施分> ・指定管理者について、月1回の業務報告会等を通じて、適正に指導、評価することが出来た。		
	検 証					
<p>○当施設用地の維持管理要求水準を踏まえた事業計画に基づき、施設内の樹木、芝生及び花壇等の育成管理やベンチ、トイレ等施設の点検・清掃・補修は適正に実施され、令和5年度に実施した施設の状態に関する利用者アンケートでは「非常に良い」・「良い」といった肯定的な回答は100%であるなど、快適で質の高いサービスが提供された。</p> <p>○近年多く見られるウッドデッキ等におけるスケートボード利用や芝生上の自転車走行等の禁止行為に対し、粘り強い指導がとられている。</p> <p>○ホームページやInstagram等の広報活動により、世界的な芝生アーティストや民放ドラマ関係者からその舞台に選ばれたこと等に伴い利用者増につながるなど、利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響が生じた以前（令和元年度）の実績に戻りつつある。</p>						
収支計画・実績						
収支の状況	<指定管理者実施分>		(単位：千円)			
	主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等		
収入 a		39,769	37,967			
	うち利用料金	11,696	10,454	新型コロナウイルス感染症が収束傾向に向かう中でイベント利用収入を高めめに計画していたこと及び雨天に伴うイベント中止等による減		
	うち県負担金	27,500	27,500			
	その他	573	13			
支出 b		39,707	37,678			
	うち人件費	21,625	21,900	利用者増加に伴う清掃等による増		
	うち維持管理費	9,972	7,986	施設維持費の減		
	その他	8,110	7,792			
収支 a-b		62	289			
検 証						
<p>○収入について、新型コロナウイルス感染症が収束傾向に向かう中でイベント利用収入を高めめに計画していたことにより、実績は計画比減となった。（参考：利用料金実績は前年度比1762千円増）</p> <p>○支出について、施設維持管理費は台風被害等が想定（計画）より少なかったため、実績は計画比減となった。</p> <p>○収入・支出とも実績は計画比減となったが、支出は収入の範囲内支出であるため、収支状況に問題はなく適切に運営できている。</p>						
指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価					B	
<p>○指定管理者制度導入により民間のノウハウを活用し、利用者に対するサービスの確保・向上のため、迅速に効果的な維持管理を行うことができおり、県民が憩い集える場として一定の水準を保っている。</p> <p>○平成30年度から指定管理者制度を導入した当施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う行動制限のため令和2・3年度は利用者が減少したが、行動制限が緩和された令和4年度以降は利用者数及びイベント日数とも増加傾向にあり、コロナ禍前の状態に戻りつつある。</p>						

6. 令和6年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容

賑わいの場の創出を図るため、令和6年度から新たに長崎県産野菜や加工品・ジビエの利活用を掲げた野菜市の定期開催（毎月）やハタ揚げ大会など、イベント開催等を通じ施設利用の増加につながるよう、関係者との接触・協議に積極的に取り組む。

7. 令和6年度事業の評価

※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

	指定管理者の行う管理運営等に関する評価		
	視点	評価	
指定管理者の行う管理運営等に関する評価	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	利用者サービスの向上や適正な管理に取り組み、施設の補修についても迅速に対応している。
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	利用の調整について、業務報告会等で協議を行うなど、公平かつ平等な利用を確保している。
	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	利用者アンケート等を通じ、利用者の意見を踏まえ、質の高いサービスの提供に努めている。
	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a	樹木・芝生・花壇その他施設・設備の維持管理について適切に行われている。
	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a	他施設の状況を踏まえた利用料金を設定のうえ、収入の確保に努めている。
	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	管理コストの縮減に努めながら業務を行い、施設の維持管理の充実が図られている。
	(その他の観点)		
	施設の在り方についての評価		
	視点	評価	
施設の在り方についての評価	必要性 ・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている	県民や観光客の憩いの場として、また、イベント等の交流の場として、徐々にニーズは高まってきている。
	・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適切しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない	新型コロナウイルス感染症に係る令和4年度の行動制限緩和以降、環境等の変化はなく適応している。
	・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	■ a. 適当（可能）でない b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である	有事の際の防災拠点としての機能も持っていることから、移管・委譲は適当ではない。
	効率性 ・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない	指定管理者のコスト削減努力により、県は最小限の負担により、適切な維持管理を実現している。
	・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる	直営管理や管理委託では現在のようなコスト縮減と維持管理は実現できない。
	有効性 ・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない	設置目的に合致した適切な管理運営がなされている。
・事業効果をさらに上げる余地はないか。	■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある	従来から取り組んでいる利用者アンケート結果等の意見も踏まえた自主事業に加え、近隣の指定管理者施設の管理・運営者と連携のうえ一体的な取り組みに努め、賑わいの場の創出を図る。	
(その他の観点)			

8. 令和7年度事業の実施に向けた方向性

区分	現状維持	■ 改善	移管	廃止
<p>(説明：令和7年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)</p> <ul style="list-style-type: none">○自主事業イベントの多角化と規模拡大に向け、関係者に対する営業活動を積極的に行う。○当施設から松が枝港国際ターミナルにわたる各指定管理者施設の管理運営者との連携により、賑わいの場の創出を図る。○従前から行っている挨拶活動、声かけ、道案内などについて、今後更におもてなしの心を持って積極的に行う。○近年、長崎港における国際クルーズ船の寄港者や長崎駅における西九州新幹線の利用者など多くの方々が当施設周辺を訪問されており、また、当施設は令和5年度には民放ドラマの舞台に選ばれ県内外から注目されている。今後も県内外はもとより、海外からの旅行者からも一人でも多く「利用したい」、「利用してみたい」と思ってもらえるような憩い安らげる場の創出に取り組み、ひいては賑わいの場の創出を目指す。				